

令和元年度から令和4年度までの取組成果・評価（案）

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
1. 開かれた議会運営の実現 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行うこと。							
①広聴広報会議の開催 開かれた議会運営を実現する上で重要となる広聴広報のより効果的な取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月1回程度開催します。	①広聴広報会議の開催 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場de県議会」「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」への対応などについて協議しました。 令和元年度開催実績：12回	①広聴広報会議の開催 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」「みえ県議会新聞」の編集、「みえ高校生県議会」「みえ現場de県議会」「みえ県議会出前講座」の実施、「傍聴者アンケート」への対応などについて協議しました。 令和2年度開催実績：15回	①広聴広報会議の開催 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」「みえ県議会新聞」の編集、「みえ高校生県議会」「みえ現場de県議会」「みえ県議会出前講座」の実施、「傍聴者アンケート」への対応などについて協議しました。 令和3年度開催実績：12回	①広聴広報会議の開催 「みえ県議会だより」「みえ県議会新聞」の編集、「みえ高校生県議会」「みえ現場de県議会」「みえ県議会出前講座」の実施、「傍聴者アンケート」への対応などについて協議しました。 令和4年度(上半期)開催実績：5回	県民の皆さんに県議会を身近に感じていただけるよう、県民からの要望等が議会ですのように取り上げられ、施策に反映されたのかがわかるような情報の発信についても検討が必要である。(令和元年度)	【廣瀬総長】 広報広聴会議がコンスタントに開催され、実質的な議論をされていることや、諸事業を遂行するための活動に取り組まれていることは高く評価するものですが、議会広聴広報計画をいったん決定した後は、刊行物の発行や諸事業の実施のための役割が主となっていたのではないのでしょうか。②の項目と重なりますが、県民意識調査の結果を拝見すると、2割程度の県民には県議会の取り組みが届いているけれども、残りの方にはそうでないという事実があります。特に、「わからない」と回答される県民の方が3割程度となっていることをどう受け止め、広報広聴活動の展開にどう反映していくかを継続的に検討するような場として機能するような会議運営の工夫が一層必要なのではないでしょうか。 【江藤教授】 ①「広聴」を先行させている会議名称は重要である。広聴を踏まえた広報の視点がでている。 ②従来のメディアの改善だけではなく、新たなメディア（SNS、QRコード等）の活用を念頭に専門家へのヒアリングも必要である。	
②議会広聴広報計画の策定 効率的かつ効果的な広聴広報活動を実施するため、1年間の活動計画である議会広聴広報計画を広聴広報会議で策定し、進捗管理を行います。	②議会広聴広報計画の策定 令和元年度議会広聴広報計画に基づき、それぞれの取組がより効率的かつ効果的なものとなるよう検討を重ねながら、広聴広報活動を実施しました。 令和2年度議会広聴広報計画は、令和2年1月29日の広聴広報会議で決定しました。	②議会広聴広報計画の策定 令和2年度議会広聴広報計画に基づき、それぞれの取組がより効率的かつ効果的なものとなるよう検討を重ねながら、広聴広報活動を実施しました。 令和3年度議会広聴広報計画は、令和3年1月22日の広聴広報会議で決定しました。	②議会広聴広報計画の策定 令和3年度議会広聴広報計画に基づき、それぞれの取組がより効率的かつ効果的なものとなるよう検討を重ねながら、広聴広報活動を実施しました。 令和4年度議会広聴広報計画は、令和4年1月18日の広聴広報会議で決定しました。	②議会広聴広報計画の策定 令和3年度議会広聴広報計画に基づき、それぞれの取組がより効率的かつ効果的なものとなるよう検討を重ねながら、広聴広報活動を実施しています。 令和5年度議会広聴広報計画は、令和5年1月の広聴広報会議で決定する予定です。	振り返りの会議の場（広聴広報会議）で課題となる意見はありませんでした。	【廣瀬総長】 ①と重なりますが、各年度に策定される広聴広報計画には、他の都道府県議会には見られないような積極的な活動も含めて豊富な事業が盛り込まれており、それが毎年度着実に実行されていますので、まずその点は高く評価すべきものと考えます。しかし、県民意識調査の結果から見ると、県議会の発信が届き、県議会の活動の特徴を把握し評価しているのは県民の2割程度にとどまっています。それを打開するための広報計画の展開が不足しているのではないのでしょうか。これをやれば大きな効果がすぐあがる、と期待できる広報広聴事業案があるわけではありませんが、「課題となる意見はありませんでした」という自己評価結果が出てくることに対しては違和感を感じました。 【江藤教授】 ①画一的な広報広聴を推進するために、その計画を策定することは重要である。 ②画一的な計画策定に、住民の意見を参照することも重要である（県民意識調査等）。	
③会議の公開 開かれた議会運営に資するため、次の会議等を原則として公開します。 ・本会議 ・常任委員会 ・特別委員会 ・議会運営委員会 ・代表者会議 ・全員協議会 ・議案聴取会 ・委員長会議 ・広聴広報会議 ・各派世話人会 ・災害対策会議 ・議会改革推進会議	③会議の公開 開かれた議会運営に資するため、次の会議等を公開しました。 ・本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会 ・代表者会議・全員協議会・議案聴取会・委員長会議 ・広聴広報会議・各派世話人会 ・災害対策会議 ・議会改革推進会議	③会議の公開 開かれた議会運営に資するため、次の会議等を公開しました。 ・本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・代表者会議 ・全員協議会・議案聴取会・委員長会議 ・広聴広報会議 ・災害対策会議 ・議会改革推進会議 ・三重県産材利用促進に関する条例検討会 ・新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議 ・スマート議会の在り方検討プロジェクト会議	③会議の公開 開かれた議会運営に資するため、次の会議等を公開しました。 ・本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・代表者会議 ・全員協議会・議案聴取会・委員長会議 ・広聴広報会議 ・議会改革推進会議 ・差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 ・三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議 ・スマート議会の在り方検討プロジェクト会議	③会議の公開 開かれた議会運営に資するため、次の会議等を公開しました。 ・本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・代表者会議 ・全員協議会・議案聴取会・委員長会議 ・広聴広報会議 ・議会改革推進会議 ・差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 ・三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議 ・スマート議会の在り方検討プロジェクト会議 ※新型コロナウイルス感染症対策に関する審議のため、令和元年度から令和4年度（上半期）まで公開のうえ対応緊急会議を11回開催	振り返りの会議の場（広聴広報会議）で課題となる意見はありませんでした。	【廣瀬総長】 あるべき取り組みがしっかりと実施されていると考えます。 【江藤教授】 ①画一的な会議での公開、TV中継、ネット中継、会議録公開が行われている。 ②これらは、広報に関することであるが、広聴の手法開発と公開も検討してよい。	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
------	-------	-------	-------	------------	-----------	------------------	--------

※県民意識調査結果及び議員アンケート結果は、別途とりまとめ。

<p>④各種媒体による広報 議会活動の情報を広く県民に提供するため、次の各種媒体を利用した情報発信を行います。 ・みえ県議会だより(年7回) ・三重県議会新聞(年2回) ・三重県議会ホームページ ・三重県議会Facebookページ ・テレビ広報</p>	<p>④各種媒体による広報 議会活動の情報を広く県民に提供するため、次の各種媒体を利用した情報発信を行いました。 ・みえ県議会だより〔年7回発行、新聞折込及び施設配架〕 ・三重県議会新聞〔発行：令和元年8月(No.1)、令和2年3月(No.2)〕 ・三重県議会ホームページ〔トップページの令和元年度アクセス数：約5万件〕 ・三重県議会Facebookページ〔ページへのいいね数：1,639(R2.4.15現在)〕 ・テレビ広報〔代表・一般質問・予算決算常任委員会総括質疑の生中継、議会ハイライト(5、12、3月)など〕</p>	<p>④各種媒体による広報 議会活動の情報を広く県民に提供するため、次の各種媒体を利用した情報発信を行いました。 ・みえ県議会だより〔年7回発行、新聞折込及び施設配架〕 ・三重県議会新聞〔発行：令和2年8月(No.1)、令和3年3月(No.2)〕 ・三重県議会ホームページ〔トップページの令和2年度アクセス数：約6万件〕 ・三重県議会Facebookページ〔投稿数：197件〕 ・テレビ広報〔代表・一般質問・予算決算常任委員会総括質疑の生中継、議会ハイライト(5月30日、1月13日・14日・16日、3月28日)など〕</p>	<p>④各種媒体による広報 議会活動の情報を広く県民に提供するため、次の各種媒体を利用した情報発信を行いました。 ・みえ県議会だより〔年7回発行、新聞折込及び施設配架〕 ・三重県議会新聞〔発行：令和3年8月(No.1)、令和4年3月(No.2)〕 ・三重県議会ホームページ〔トップページの令和3年度アクセス数：約57万件〕 ・三重県議会Facebookページ〔投稿数：230件〕 ・テレビ広報〔代表質問・一般質問・予算決算常任委員会総括質疑の生中継、議会ハイライト(5月29日、1月12日・13日・15日、3月27日)〕</p>	<p>④各種媒体による広報 議会活動の情報を広く県民に提供するため、次の各種媒体を利用した情報発信を行いました。 ・みえ県議会だより〔上半期〕(4回発行、新聞折込及び施設配架)</p>	<p>より効果的な広報活動を推進していくため、広報媒体の活用については、回数や部数、その媒体の特性等も含めて、費用対効果を考慮した議論をしていくことが必要である。(令和元年度)</p>	<p>【廣瀬総長】 各種媒体広報は受け取る側の県民の意識のなかに形成される「県議会からはこの媒体に、この時期に出てくる」という想定を裏切らないことも重要なので、基本的には定着したパターンを拙速に大幅変更することは得策でないと思います。その一方で、例年通りの媒体広報を例年通り行うだけでは、これまで接していなかった層の方への訴求力は向上しません。そのための新たな展開の検討なども必要なのではないのでしょうか。また、SNSの活用についてはある段階でパターン化して、議会情報の広がりをもたらす媒体にはなっていないように思います。この領域で新しい展開を試行するなどの取り組みはあって良かったのではないかと思います。 【江藤教授】 ①紙媒体だけではなく、HPやSNS等を活用している。引き続き効果を検討して進めてもらいたい。 ②〆の項目は「各種媒体による広報」であるが、多様な媒体による「広聴」も議論すべきである。</p>
<p>⑤議長定例記者会見の実施 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月1回実施し、インターネットによる生中継・録画配信を行うとともに会議録を公表します。</p>	<p>⑤議長定例記者会見の実施 2019年の三重県議会の活動10大ニュースや議員勉強会開催、三重県議会イベントの実施などについて発表しました。 令和元年度開催実績：11回(就任記者会見を除く)</p>	<p>⑤議長定例記者会見の実施 2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」や議員勉強会開催などについて発表しました。 令和2年度開催実績：12回(就任記者会見を除く)</p>	<p>⑤議長定例記者会見の実施 2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」や議員勉強会開催などについて発表しました。 令和3年度開催実績：12回(就任記者会見を除く)</p>	<p>⑤議長定例記者会見の実施 2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」や議員勉強会開催などについて発表しました。 令和4年度9月までの開催実績：6回(就任記者会見を除く)</p>	<p>振り返りの会議の場(代表者会議)で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 議長記者会見は、各種媒体にとってのニュースソースですので、着実に実行されていることを評価します。記者会見で発信した情報の内容が各種媒体にどのように取りあげられたかは、広報広聴会議で把握、評価されていくことが必要だと思います。 【江藤教授】 ①記事に対して、議長定例記者会見を実施する意義は大きい。知事の記者会見に対して注目度は低い。 ②議会による政策提言・監視をすすめているテーマの発表などを行うことで関心を高めることも想定してよい。</p>
<p>⑥みえ県議会出前講座の実施 地方自治に対する親近感の醸成と将来の住民自治を担う県民としての意識の涵養に寄与することを目的として、学校からの申込みを受け、児童、生徒、学生に対して、広聴広報会議委員が三重県議会の仕組み等を学校に出向いて説明し、質疑応答を行う「みえ県議会出前講座」を実施します。</p>	<p>⑥みえ県議会出前講座の実施 学校からの申込みを受けて、令和元年度は、7校491人の児童生徒に対して実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が86%と肯定的な結果でした。 ・令和元年7月24日(水)鳥羽商船高等専門学校 ・11月5日(火)三重県立紀南高等学校 ・11月20日(水)鈴鹿中等教育学校 ・令和2年1月22日(水)いなべ市立石榑小学校 ・1月30日(木)桑名市立七和小学校 ・2月3日(月)松阪市立掃水小学校 ・2月5日(水)熊野市立木本小学校</p>	<p>⑥みえ県議会出前講座の実施 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月末まで「みえ県議会出前講座」を休止しました。 その後、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、また、学校現場の負担等に配慮し、9月からは積極的に募集は行わないものの、学校から依頼があれば適切に対応するということとしました。 結果、実施依頼は無かったため、令和2年度は未実施となりました。</p>	<p>⑥みえ県議会出前講座の実施 学校からの申込みを受けて、令和3年度は、1校23人の生徒に対して実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が87%と肯定的な結果でした。 ・令和3年10月18日志摩市立浜島中学校</p>	<p>⑥みえ県議会出前講座の実施 学校からの申込みを受けて、2校45人の児童生徒に対して実施しました。実施後のアンケート結果は集計中です。 ・令和4年9月6日(火)いなべ市立治田小学校 ・令和4年9月7日(水)三重県立南伊勢高等学校南勢校舎</p>	<p>子どもたちにいかに伝えるかという工夫が必要であり、他の委員のノウハウの共有し、高めあう仕組みが必要である。(令和元年度)</p>	<p>【廣瀬総長】 コロナ禍のなかで、今回は大きく制約がかかった領域だと理解しています。今後は徐々に復活していくと思いますので、改選後へのノウハウの継承にしっかりと取り組まれることを期待します。 【江藤教授】 ①議会を身近に感じてもらうために意義ある試みである。 ②〆日、「主権者教育」が重要になっているが、それにも活用できる。</p>

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<p>⑦みえ現場de県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会での議論に生かしていくため、県政の重要課題等をテーマに設定して、関係団体や県民に広く参加を呼び掛ける「みえ現場de県議会」を開催します。</p> <p>開催後、広聴広報会議からテーマに関連する委員会等に、県民等からいただいた意見の情報提供を行い、委員会等における調査・審査に活用します。</p>	<p>⑦みえ現場de県議会 令和元年度は2回開催し、議会での議論等の参考としました。</p> <p>第2回「みえ現場de県議会」では、三重県議会初の試みとして、テーマ等を公募し決定しました。</p> <p>●第1回 日 時：令和元年11月7日 〔場所：尾鷲市早田町〕 テーマ：「水産業の振興」 参加者：早田漁師塾の関係者の方5人、一般公募の方3人、県議会議員8人、計16人</p> <p>●第2回 日 時：平成22年2月14日 〔場所：三重大学（津市）〕 テーマ：「若者の県内定着の促進」 参加者：若者の県内定着の促進に取り組む関係者の方5人、一般公募の方5人、県議会議員9人、計19人</p>	<p>⑦みえ現場de県議会 令和3年1月26日の開催に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、県内に緊急警戒宣言が発出されたため、令和3年1月15日、広聴広報会議を急ぎ開催し、中止を決定しました。</p> <p>【中止】開催日：令和3年1月26日（火）〔場所：四日市市〕 テーマ：「新型コロナウイルスが及ぼす県内経済への影響について」 参加者：関係者（県民）6人、県議会議員 19人、計25人（予定）</p>	<p>⑦みえ現場de県議会 令和3年度は1回開催し、議会での議論等の参考としました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、傍聴の方にはオンラインでご視聴いただきました。</p> <p>開催日：令和4年2月7日（月）〔場所：桑名市〕 テーマ：「コロナ禍からの復興に向けて」 参加者：関係者 6人（うちオンライン参加2人） 県議会議員 13人、計19人</p>	<p>⑦みえ現場de県議会 大台町での開催に向けて準備を進めている。</p> <p>開催日：令和4年11月17日（木） テーマ：「人口減少対策～移住による地域おこし～」</p>	<p>テーマは、次もまた公募するというのではなく、今回のテーマをさらに深掘りするか、複数の選択肢を提示し、県民に投票いただく等の工夫も必要である。（令和元年度）</p>	<p>【廣瀬総長】 テーマ選定、同じテーマを継続して深掘りしていくかなど、運営方法についても検討されていたところでコロナ禍となり、すでに再開はされていますが、本格的な展開には至らずの状況と理解します。その中で、地域の重要課題について取り組まれていることに敬意を表します。</p> <p>【江藤教授】 ①テーマを公募することも重要だが、議会として取り組んでいるテーマについての意見交換会も想定してよい。 ②広聴広報会議主催だが、テーマによっては委員会との共催で行ってもよい。</p>	
<p>⑧みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。</p> <p>開催後、広聴広報会議から高校生からの質問事項に関連する委員会等に、高校生の意見の情報提供を行い、委員会等における調査・審査に活用します。</p>	<p>⑧みえ高校生県議会 令和2年8月17日の開催に向けて開催要領を作成し、令和2年3月4日から参加校の募集を開始しました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月17日開催の広聴広報会議で中止を決定しました。</p>	<p>⑧みえ高校生県議会 令和2年8月17日の開催に向け、参加者募集等準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、県内に緊急事態宣言が発出されたことから、令和2年4月17日、広聴広報会議を急ぎ開催し、中止を決定しました。</p> <p>【中止】開催日：令和2年8月17日（月） 参加者：1校あたり3人程度とし、合計16校まで</p>	<p>⑧みえ高校生県議会 令和4年5月9日開催の広聴広報会議で8校の参加を決定しました。</p> <p>【予定】開催日：令和4年8月22日（月） 参加校：8校（1校あたり2～4人）</p>	<p>⑧みえ高校生県議会 令和4年8月22日に開催し、高校生との議論を今後の県議会での議論に活かしていきます。</p> <p>・参加校：8校26人（暁高校、名張高校、桑名高校、四日市南高校、飯南高校、紀南高校、四日市高校、聾学校） ・参加議員：15人（広聴広報会議委員、議長、常任委員長）</p>	<p>高校生の持ち時間を増やす方策が必要である。（令和4年度）</p>	<p>【廣瀬総長】 今年度の自己評価による課題から拝察すると、計画していた時間内に収まりきらないほど、高校生からの積極的な発言があったと理解します。それ自体、企画が有効に機能していることを示すものであり、高く評価します。</p> <p>【江藤教授】 〔①□質問の事前準備を高校生と議員が時間をかけて行うことも想定してよい〕 〔②□その後の対応を議会として高校に説明することも必要である〕 * □は未確認</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<p>⑨参考人制度等の活用</p> <p>県政の重要な案件又は県民の利害に関わる重要な案件の調査・審査に当たっては、専門的知識を有する者のほか利害関係者や県民の意見を反映させるため、必要に応じて参考人の招致や公聴会の開催を行います。</p>	<p>⑨参考人制度等の活用</p> <p>以下のとおり常任委員会、特別委員会において参考人の招致を行いました。</p> <p>○医療保健子ども福祉院常任委員会 児童虐待の防止と社会的養育の推進に向けた現状と今後の課題について (令和元年9月24日) <参考人>前三重県児童相談センター 所長 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 客員研究員 鈴木聡 氏 ○予算決算常任委員会 住民参加型予算の現状と課題について (令和2年2月18日) <参考人>明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授 兼村高文 氏 ○外国人支援調査特別委員会 外国人労働者に係る支援について (令和元年6月25日) <参考人>公益財団法人三重県国際交流財団(MIEF) 常務理事兼事務局長 北村 文明 氏ほか4名 (令和元年8月2日) <参考人>名古屋出入国在留管理局 局長 藤原 浩昭 氏ほか2名 (令和元年10月15日) <参考人>特定非営利活動法人 愛伝舎 理事長 坂本 久海子 氏 三重県行政書士会 会長 若林 三知 氏ほか3名</p>	<p>⑨参考人制度等の活用</p> <p>以下のとおり常任委員会、特別委員会において参考人の招致を行いました。</p> <p>○戦略企画雇用経済常任委員会 ・新しい産業としての「eスポーツ」について 【令和3年1月15日】 <参考人>株式会社ネクスト・ワン 代表取締役社長 高田 雅之 氏 ・コロナ禍における観光事情や旅館業の現状等について 【令和3年3月11日】 <参考人>株式会社戸田家 代表取締役社長 寺田順三郎 氏 ○医療保健子ども福祉院常任委員会 ・みえ曲と口腔の健康づくり条例の施行後から現在までの歯科保健の現状について 【令和2年9月10日】 <参考人>公益財団法人三重県歯科医師会 副会長 羽根 司人 氏 【令和2年9月24日】 <参考人>障がい者総合相談支援センターそういん センター 長 中村弘樹 氏 ○防災県土整備企業常任委員会 ・流域治水について 【令和2年12月21日】 <参考人>国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 所長 秋葉雅章 氏 ○予算決算常任委員会 ・新型コロナウイルス感染症による財政への影響と地方自治体の課題について 【令和2年11月13日】 <参考人>明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授 田中秀明 氏 ○差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・近年問題となっている様々な差別の実態等について 【令和2年7月13日】 <参考人>公益財団法人反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長 松村元樹 氏 【令和2年7月31日】 <参考人> 武蔵野大学名誉教授 株式会社情報文化総合研究所代表取締役 佐藤佳弘 氏 【令和2年8月24日】 <参考人> 部落解放同盟三重県連合会執行委員長 松岡克己 氏 津市反差別青少年友の会 原田朋記 氏 高校生青年友の会・レベラーズ 苗村祥代 氏 【令和2年9月16日】 <参考人> 三重大学名誉教授 三重県男女共同参画審議会会長 小川眞里子 氏 【令和2年10月5日】 <参考人> 三重短期大学法経科教授 橋本 孝 氏 【令和2年10月14日】 <参考人> 美桜会(美蓉桜華性的マイノリティ連合会)会長 近藤 聡 氏 【令和2年10月23日】 <参考人> おやこひろば桜梅桃李代表 心理カウンセラー 柳谷和美 氏</p>	<p>⑨参考人制度等の活用</p> <p>以下のとおり特別委員会において参考人の招致を行いました。</p> <p>○花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 ・花や木に関する生産から生活環境の美化、まちづくり等における活用について 【令和3年7月7日】 <参考人> 一般社団法人JFTD花キュービッド5 8三重支部 支部幹事 奥田誠 氏、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会三重県支部 支部長 瀬尾日南子 氏、三重県インドアグリーン協会 会長 柳川信裕 氏 株式会社伊勢生花地方卸売市場 代表取締役 種田加寿宏 氏 ・花き市場の状況について 【令和3年12月7日】 <参考人> 愛知名港花き卸売事業協同組合 副理事長 細野時久 氏 ・花きの持つ効用について 【令和3年12月7日】 <参考人>千葉大学環境健康フィールド科学センター自然セラピー研究 特任研究員 グランドフェロー 宮崎良文 氏</p>		<p>・参考人招致は現在の制度上、リモートでは実施できないことになっている。コロナ禍のこのような時代、参考人招致をウェブでも実施できるよう国に要請するなど、三重県議会としての対応について検討するべきではないか。(令和2年度) →令和3年、委員長会議で上記の意見があり、検討を重ね、申し合わせ事項を変更し、事実上の参考人としてオンラインによる参考人招致を可能とした。 併せて、国へオンライン参考人招致を可能とする法改正を求める意見書を提出したところ、総務省から、法整備をしたうえでオンライン参考人招致は可能との通知が都道府県宛てにあり、令和4年9月15日に条例等を改正した。</p> <p>・様々な参考人から多様な意見を聴取することができた一方で、参考人を招致するに当たっては、その趣旨、目的や招致しようとする参考人の専門性、実績等を丁寧に議論するとともに、参考人にも招致する趣旨、目的についてきちんと伝えるようすべきだった。(令和3年度)</p>	<p>【廣瀬総長】 コロナ禍に遭遇し、国への働きかけも行う中で、条例整備の上でオンラインでの参考人招致を可能にするなどの積極的な取り組みを高く評価します。参考人の人選、参考人との事前の打ち合わせ、当日の発言時間の配分などのノウハウが高められ蓄積、継承されていくことを期待します。 【江藤教授】 ①参考人は、着実に実施されている。参考人の活用は、「開かれた議会運営の実現」だけではなく、監視や政策提言に有用である。 ②参考人のオンラインによる周知は、委員会では従来からも可能だったと思われる(未確認)。条例改正を行った。 *参考人は「開かれた議会運営の実現」に入っているが、監視や政策提言にかかわる。むしろ公聴会が「開かれた議会運営の実現」には該当する。</p>	
<p>⑩請願への対応</p> <p>受理した請願については、主として所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行います。また、採択した請願については、必要に応じて、知事等に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるほか、国等に対し意見書を提出するなど、議会として、願意の実現に向けた取組を行います。</p>	<p>⑩請願への対応</p> <p>令和元年度は、12件の請願を受理し、取下げがされた1件を除く11件について、所管の常任委員会において、誠実かつ慎重に審査を行い、9件を採択、2件を不採択としました。 採択した9件の請願のうち、3件について知事に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるとともに、8件について国に対し意見書を提出するなど、議会として、願意の実現に向けた取組を行いました。</p>	<p>⑩請願への対応</p> <p>令和2年度は、17件の請願を受理し、所管の常任委員会において、誠実かつ慎重に審査を行い、12件を採択、3件を不採択とし、2件は審査中です。 採択した12件の請願のうち、6件について知事に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるとともに、8件について国に対し意見書を提出するなど、議会として、願意の実現に向けた取組を行いました。</p>	<p>⑩請願への対応</p> <p>令和3年度は、審査中の2件に加えて、新たに12件の請願を受理し、所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行い、12件を採択、2件を不採択としました。 採択した12件の請願のうち、2件について知事に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるとともに、9件について国に対し意見書を提出するなど、議会として、願意の実現に向けた取組を行いました。</p>	<p>⑩請願への対応</p> <p>令和4年度は、6月定例会議において、2件の請願を受理し、所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行い、1件を採択、1件を不採択としました。 採択した請願について国に対し意見書を提出するなど、議会として、願意の実現に向けた取組を行いました。</p>	<p>振り返りの会議の場(常任委員会、特別委員会)で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 採択された請願の内、国への働きかけを行うものについては、場合によっては他の都道府県議会や市町村議会との連携などが有効なものもあり得ると思います。そういう例があれば、積極的に議会間連携で取り組むなどの展開も期待されると思います。 【江藤教授】 ①請願とともに陳情についても議論してよい。 ②国た、請願(陳情)を議論するにあたって、請願者が意見を陳述する場を設けることも検討してよい。</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<h2>2. 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進</h2> <p>議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行うこと。</p>							
<p>①委員会審議の活性化 議事機関としての議会の機能を十分に発揮するため、各委員会において、議員相互間の討議を積極的に行うよう努めます。また、効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、委員長会議の開催をはじめとした委員会間の情報共有・調整及び連合審査会の活用を努めます。</p>	<p>①委員会審議の活性化 ・議員相互間の討議について、委員会活動の自己評価を行いました。 ・戦略企画雇用経済常任委員会と教育警察常任委員会の連合審査会を開催（令和元年10月7日）し、次期「三重県教育施策大綱」中間案について調査を行いました。</p>	<p>①委員会審議の活性化 ・議員相互間の討議について、委員会活動の自己評価を行いました。</p>	<p>①委員会審議の活性化 ・議員相互間の討議について、委員会活動の自己評価を行いました。 ・防災県土整備企業常任委員会で議員相互間の討議により附帯決議を行うことを決定しました。</p>	<p>①委員会審議の活性化 ・議員相互間の討議について、委員会活動の上半期の振り返りを行う予定。</p>	<p>委員会討議の充実に向けて、今後、議論を深めて工夫が必要である。（令和元年度）</p>	<p>【廣瀬総長】 委員会審議の活性化については、ほとんどの委員会で令和2年度に比して3年度は大幅に自己評価が向上しており、その多くはコロナ禍の委員会審議への影響を反映してのことと理解します。現状では、委員会審議に大きな制約がかかる状況は脱しているものと思われませんが、その条件下であらためて、議案審議における議員間討議のあり方について検討を深めていただければと思います。特別委員会、特に議会がイニシアティブをとる案件については議員間討議を含めて活発に議論がなされて成果をあげておられると理解します。 【江藤教授】 ①議員審議の自己評価を行っている。意義あるものである。連合審査は、行政の縦割りの議会の委員会での縦割りの再生産‘を防止することにもなる。</p>	
<p>②各委員会における年間活動計画の策定 ◆年間活動計画 各委員会では、効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、1年間の活動スケジュール、重点調査項目、県内外調査等の予定について定める年間活動計画を策定します。 ◆重点調査項目 各行政部門別常任委員会及び特別委員会では、県政で課題となっている項目等、年間を通じて特に調査を行っていく必要がある事項を「重点調査項目」として年間活動計画で定めます。 ◆県内外調査 「重点調査項目」を中心として、所管事項について調査するための県内外調査の予定を年間活動計画で定めます。</p>	<p>②年間活動計画の策定 各行政部門別常任委員会、予算決算常任委員会、特別委員会において、年間活動計画を策定し、所管調査事項、重点調査項目、年間の委員会活動の予定、県内外調査等の予定を定めました。 また、必要に応じ、重点調査項目等について年間活動計画を見直しました。</p>	<p>②年間活動計画の策定 各行政部門別常任委員会、予算決算常任委員会、特別委員会において、年間活動計画を策定し、所管調査事項、重点調査項目、年間の委員会活動の予定、県内外調査等の予定を定めました。 また、必要に応じ、重点調査項目等について年間活動計画を見直しました。</p>	<p>②年間活動計画の策定 各行政部門別常任委員会、予算決算常任委員会、特別委員会において、年間活動計画を策定し、所管調査事項、重点調査項目、年間の委員会活動の予定、県内外調査等の予定を定めました。 また、必要に応じ、重点調査項目等について年間活動計画を見直しました。</p>	<p>②年間活動計画の策定 各行政部門別常任委員会、予算決算常任委員会、特別委員会において、年間活動計画を策定し、所管調査事項、重点調査項目、年間の委員会活動の予定、県内外調査等の予定を定めました。</p>	<p>◆年間活動計画 ・今後4年ごとに知事選挙の影響が生じる可能性があることをふまえて、委員会運営を想定する必要がある。（令和3年度） ◆重点調査項目 ・南部地域を始めとする人口減少対策については、成果が不十分な部分もあり、今後も引き続き重点的に調査する必要があると考える。（令和元年度） ・重点調査項目の「新型コロナウイルス感染症等にかかる危機管理について」は、全員協議会でも協議することになったこともあり、所管の委員会だけで議論するにはテーマが大きく、設定に課題があった。（令和3年度） ◆県内外調査 ・今年度は県外調査を実施することができなかったため、次年度以降は新型コロナウイルスの感染状況も考慮しながら、できる方法を考えて実施していくことが必要ではないか。 <例>少人数の班に分けての県外調査の実施（令和3年度）</p>	<p>【廣瀬総長】 自己評価における課題の記述内容を拝見すると、これらが明文化されて議会内に共有されていること自体が、委員会の年間活動計画を策定するという方式の効果を示していると思います。 【江藤教授】 ①県議会の活動は、委員会活動に負っている。その委員会が年間活動計画を策定しそれに基づき活動することが行われている。4年間を見据え、重点調査項目、県内外調査が明記されている。 ②□の計画の策定、実践が議会力をアップさせる視点を再確認したい。</p>	
<p>③当初予算に係る調査・審査 当初予算については、毎年度、議長を除く全議員参加型の予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。 ・予算決算常任委員会 当初予算について、予算編成が始まる前や予算要求の段階から予算調製方針、予算要求状況などの調査・審査を行います。 ・分科会の取組 予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算の詳細な調査・審査をします。</p>	<p>③当初予算に係る調査・審査 予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算に係る調査・審査を行いました。 当初予算編成に向けての基本的な考え方（令和2年度経営方針（案）、予算調製方針） 予算決算常任委員会調査 令和元年10月23～24日 分科会調査 令和元年10月30～31日 分科会報告 令和元年11月15日 当初予算要求状況 予算決算常任委員会調査 令和元年12月6、9日（総括質疑） 分科会調査 令和元年12月10～13日、16日 分科会報告 令和元年12月18日 当初予算 予算決算常任委員会審査 令和2年3月6日（総括質疑） 分科会審査 令和2年3月9～12日 分科会報告・採決 令和2年3月17日</p>	<p>③当初予算に係る調査・審査 予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算に係る調査・審査を行いました。 当初予算編成に向けての基本的な考え方（令和3年度経営方針（案）、予算調製方針） 予算決算常任委員会調査 令和2年10月22～23日 分科会調査 令和2年10月29～30日 分科会報告 令和2年11月13日 当初予算要求状況 予算決算常任委員会調査 令和2年12月15日 分科会調査 令和2年12月16～17日 分科会報告 令和2年12月18日 当初予算 予算決算常任委員会審査 令和3年3月10日（総括質疑） 分科会審査 令和3年3月11～12日、15～16日 分科会報告・採決 令和3年3月19日</p>	<p>③当初予算に係る調査・審査 予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算に係る調査・審査を行いました。 当初予算編成に向けての基本的な考え方（令和4年度行政展開方針（案）、予算調製方針） 予算決算常任委員会調査 令和3年11月29日 分科会調査 令和3年11月30日、12月1日 分科会報告 令和3年12月2日 当初予算要求状況 予算決算常任委員会調査 令和3年12月13日 分科会調査 令和3年12月15～17日、20日 分科会報告 令和3年12月22日 当初予算 予算決算常任委員会審査 令和4年3月10日（総括質疑） 分科会審査 令和4年3月11日、14～16日 分科会報告・採決 令和4年3月22日</p>		<p>新しいビジョン、プランの概要案しか提案がなかったため、当初予算を詳細に議論しづらい状況にあった。本来ならば新しいビジョン、プランが固まってから当初予算の審査をすべきであり、次回のビジョン、プランを策定する際には十分な議論ができるようにする必要がある。（令和3年度）</p>	<p>【廣瀬総長】 今後知事の改選時期が議会とはずれて年度途中となるので、そのタイミングでの予算審議のあり方について、現職再選のケースと、新人当選のケースのそれぞれについて検討しておく必要があると思います。 【江藤教授】 ①議員参加の予算決算委員会での審議が定着している。これをさらに進めるべきである。 ②田審議にあたって、「新しいビジョン、プラン」を素材にすることは重要である。同時に、決算を踏まえた予算審議が重要である。また、「新しいビジョン、プラン」の概要案しか提出されない場合でも、いままでの計画の評価を議会として独自に対応することも必要である。</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<p>④総合計画に係る調査・審査 総合計画及び「みえ県民カビジョン・行動計画」の策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせて調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。 ・みえ県民カビジョン・第二次行動計画の評価等 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」に基づく平成30年度及び令和元年度の県の施策等の取組について、「成果レポート」の作成に合わせて各行政部門別常任委員会や予算決算常任委員会において詳細な調査を行うとともに、知事に対して申し入れを行い、毎年度の取組等に対する監視・評価・政策提言を行います。(令和元年度、令和2年度) ・みえ県民カビジョン・次期行動計画の策定への関与 「みえ県民カビジョン」の次期行動計画は議会の議決対象計画であり、策定当初から最終的な議決に至るまで一貫して関与することにより、議会の団体意思決定機能や政策形成機能、監視機能を効果的に発揮します。具体的には、全員協議会や各行政部門別常任委員会において詳細な審査を行うとともに、知事に対する申し入れを行います。(令和元年度)</p>	<p>④総合計画に係る調査・審査 「令和元年版成果レポート(案)」について、6月定例会議における各行政部門別常任委員会において調査を行い、予算決算常任委員会での調査を経て、令和元年8月5日、予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会から、知事への申し入れを行いました。 ・各行政部門別常任委員会 令和元年6月18～21日 ・予算決算常任委員会 令和元年7月12日 ・知事への申し入れ 令和元年8月5日「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」について、中間案、最終案の各段階で調査等を行い、正副議長、各行政部門別常任委員会、予算決算常任委員会から、知事への申し入れを行いました。 (「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」中間案の調査) 全委員協議会 令和元年9月18日 各行政部門別常任委員会 令和元年10月7～10日 全員協議会 令和元年10月18日 委員長会議 令和元年10月24日 知事への申し入れ 令和元年11月1日 (「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」最終案の調査) 全委員協議会 令和元年11月25日 各行政部門別常任委員会 令和元年12月10～16日 全員協議会 令和元年12月20日 委員長会議 令和2年1月15日 知事への申し入れ 令和2年1月21日</p>	<p>④総合計画に係る調査・審査 「令和2年版成果レポート(案)」について、6月定例会議における各行政部門別常任委員会において調査を行い、予算決算常任委員会での調査を経て、令和2年8月4日、予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会から、知事への申し入れを行いました。 各行政部門別常任委員会 令和2年6月18～19日、22～23日 予算決算常任委員会 令和2年7月13日 知事への申し入れ 令和2年8月4日</p>	<p>④総合計画に係る調査・審査 ・「令和3年版成果レポート(案)」について、6月定例会議における各行政部門別常任委員会において調査を行い、予算決算常任委員会での調査を経て、令和3年8月2日、予算決算常任委員会正副委員長及び各行政部門別常任委員会委員長から、知事への申し入れを行いました。 各行政部門別常任委員会 令和3年6月18日、21～23日 予算決算常任委員会 令和3年7月13日 知事への申し入れ 令和3年8月2日 ・「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)概要案」及び「みえ元気プラン(仮称)概要案」について、2月定例会議における各行政部門別常任委員会において調査を行い、全員協議会での調査を経て、令和4年3月31日、正副議長及び各常任委員会委員長から、知事への申し入れを行いました。 各行政部門別常任委員会 令和4年3月11日、14～16日 全員協議会 令和4年3月22日 知事への申し入れ 令和4年3月31日</p>	<p>④総合計画に係る調査・審査 ・「令和4年版県政レポート(案)」について、6月定例会議における各行政部門別常任委員会において調査を行い、予算決算常任委員会での調査を経て、令和4年7月25日、予算決算常任委員会正副委員長及び各行政部門別常任委員会委員長から、知事への申し入れを行いました。 各行政部門別常任委員会 令和4年6月20～23日 予算決算常任委員会 令和4年7月11日 知事への申し入れ 令和4年7月25日 ・「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)」及び「みえ元気プラン(仮称)」最終案について、6月定例会議において調査等を行い、正副議長及び各常任委員会委員長から、知事への申し入れを行いました。 全員協議会 令和4年6月3日 各行政部門別常任委員会 令和4年6月20～23日 全員協議会 令和4年7月11日 委員長会議 令和4年7月15日 知事への申し入れ 令和4年7月25日</p>	<p>新しいビジョン、プランの概要案しか提案がなかったため、当初予算を詳細に議論しづらい状況にあった。本来ならば新しいビジョン、プランが固まってから当初予算の審査をすべきであり、次回のビジョン、プランを策定する際には十分な議論ができるようにする必要がある。(令和3年度)</p>	<p>【廣瀬総長】 これについても、今後の知事改選時期を踏まえた、議会の任期中の何年目に何に取り組みかの検討を再構築しておく必要があります。 【江藤教授】 ①□「新しいビジョン、プラン」の概要案しか提出されない場合でも、いままでの計画の評価を議会として独自に対応することも必要である。 ②□総合計画にかかわる調査・審査にあたって、その検証が必要である。決算に表れているので、それとの連動をこの項目でも議論すべきである。</p>	
<p>⑤個別の行政計画に係る調査・審査 個別の行政計画については、改定時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。 議会の議決対象となっている計画については、所管の常任委員会での調査・審査だけでなく、本会議における議案質疑を行うなど、より詳細な調査・審査等を行い、議決に至るまで一貫して議会が関与します。</p>	<p>⑤個別の行政計画に係る調査・審査 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「三重県環境基本計画」「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」「三重県観光振興基本計画」「三重県新エネルギービジョン」</p>	<p>⑤個別の行政計画に係る調査・審査 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」「第3次三重県男女共同参画基本計画」</p>	<p>⑤個別の行政計画に係る調査・審査 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「三重県交通安全計画」「伊勢茶振興計画」</p>	<p>⑤個別の行政計画に係る調査・審査 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査を行いました。</p>	<p>今年度は子ども・福祉部所管の計画改定等が非常に多く、各部署の調査時間に大きな差が生じたため、状況に応じて開催順序を検討する等の対応も必要である。(令和元年度)</p>	<p>【廣瀬総長】 分野別行政計画と、県政全体、総合計画との連関についての検討の機会を、議会としては、どのタイミングでどの場に設定するのかを検討していくことも課題だと考えます。 【江藤教授】 ①□なくない行政計画を議会の議決対象としている。行政計画体系を視野に入れ、毎年の進捗状況を報告させる。 ②□行政計画は、機関が決まっている。終了時期は明確なので、次期行政計画の議論を委員会等で行う必要がある。</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
3. 独自の政策立案と政策提言の強化 提出された議案の審議又は審査を行うほか、独自の政策立案や政策提言に取り組むこと。							
①政策に係る議員提出条例の制定及び検証 二元代表制の一翼を担う議会として、県政の各分野に関し政策の理念や具体的な施策の実現を図るため、必要に応じて、政策に係る議員提出条例の制定に向けた取組を進めるとともに、政策に係る議員提出条例の検証を行います。	① 政策に係る議員提出条例の制定及び検証 三重県産材の利用の促進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行うことを目的として、令和2年1月に委員11人をもって、「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。検討会では、関係団体の方からの意見聴取なども行い、丁寧な検討を進めました。	① 政策に係る議員提出条例の制定及び検証 三重県産材の利用の促進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行うことを目的として、令和2年1月に設置した「三重県産材利用促進に関する条例検討会」において、木材関係団体等からの意見聴取、県内の県産材利用に関わる現場への県内調査、We b会議システムを利用した先進条例制定県である兵庫県からの聴取り調査、パブリックコメント等を経て、「三重の木づくり条例案」を取りまとめました（令和3年3月可決）。 また、同検討会からの申入れにより、環境生活農林水産常任委員会において「みえの森林づくり条例」の一部改正案を取りまとめました（令和3年3月可決）。	① 政策に係る議員提出条例の制定及び検証 ・様々な差別の解消に向けて 様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査検討を行うことを目的として、令和2年5月に委員11人をもって、「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置しました。令和3年度は、本委員会において取りまとめた条例中間案についてパブリックコメントを実施するなど条例案策定に向けて丁寧な検討を進めました。 ・心身ともに健やかな県民の暮らしの実現に向けて アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うため、令和3年5月に委員11人をもって、「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置しました。令和3年度は、参考人からの意見聴取や県内外調査などを行い、条例案策定に向けて丁寧な検討を進めました。	① 政策に係る議員提出条例の制定及び検証 ・様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査検討を行うことを目的として、令和2年5月に委員11人をもって、「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置しました。令和4年度は、これまでの丁寧な検討をもとに、「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例案」を令和4年4月に取りまとめました（令和4年5月可決）。 ・心身ともに健やかな県民の暮らしの実現に向けて アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うため、令和3年5月に委員11人をもって、「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置しました。令和4年度（上半期）は、県外調査を行うとともに、条例案策定に向けて丁寧な検討を進めました。	振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 条例のテーマ選定、本数、立案過程での取り組みなど適切に取り組まれているものと思います。 【江藤教授】 ①□政策にかかわる議員提出条例の制定及び検証」の項目では、議員提出条例の豊富な実践が明記されている。しかし、「検証」については触れられていない。かつて特別委員会でも検証したような、検証について議論すべきである。 ②議員提出条例だけではなく、首長提案条例についても検証すべきである（時限立法にしたり、首長に検証を委ねたりすることを含めて）。	
②議員発議に係る意見書の提出 住民の多様な意見の実現を図るため、必要に応じて、国等に対し意見書を提出するなど、議会独自の政策提言に努めます。	② 議員発議に係る意見書の提出 令和元年度は、請願に基づく委員会提出の意見書8件のほか、議員発議に係る意見書8件を国に対し提出しました。 特に、CSF対策については、CSFの感染拡大の防止対策や養豚農家への支援の充実など、その時々の課題に応じた計3件の意見書を全会一致で可決し、8月には議長が農林水産大臣に直接提出するなど、国等に対し要望事項の実現を積極的に働きかけました。 また、令和2年2月には「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を全会一致で可決し、速やかに国に提出するなど、国等に対し要望事項の実現を積極的に働きかけました。	② 議員発議に係る意見書の提出 令和2年度は、請願に基づく委員会提出の意見書6件のほか、議員発議に係る意見書12件を国に対し提出しました。 特に、国土強靱化担当大臣あての意見書については、三重県市議会議長会会長の世古明伊勢市議会議長、三重県町村議会議長会会長の上村久仁南伊勢町議会議長とともに内閣官房国土強靱化推進室を訪れ、五道仁実次長に対して直接手渡しました。	② 議員発議に係る意見書の提出 令和3年度は、請願に基づく委員会提出の意見書9件のほか、議員発議に係る意見書9件を国に対し提出しました。	② 議員発議に係る意見書の提出 令和4年度は、6月定例会議において、請願に基づく委員会提出の意見書1件のほか、議員発議に係る意見書2件を国に対し提出しました。	振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 議員発議の意見書についても、請願発議のものと同様、国への働きかけにおける他自治体の議会との連携が効果的な場面が想定されます。その点についても今後検討されると良いのではないのでしょうか。 【江藤教授】 ①他の議会とともに意見書を提出したことは意味がある。 ②意見書は一方通行で、応答責任はない。応答責任を自治法に書き込むことを要請すべきである。	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<p>③特別委員会等の設置 県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、詳細な調査・審査を行うことにより議会独自の政策立案や政策提言を積極的に進めます。</p>	<p>③特別委員会等の設置 ・外国人労働者支援調査特別委員会 ・外国人労働者に係る支援について調査を行うため、令和元年5月15日議決により設置しました。令和2年3月31日に廃止されるまでの間、委員会14回（参考人招致3回含む）、県外調査1回を行い、令和2年3月19日には委員長報告、知事への提言を行いました。</p>	<p>③特別委員会等の設置 ・差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査検討を行うため、令和2年5月15日議決により設置しました。令和2年度は、委員会21回（参考人招致7回含む）を開催しました。 ・選挙区及び定数に関する在り方調査会 三重県議会における選挙区及び定数の在り方について調査するため、令和元年6月28日に設置しました。令和2年度は、5回の会議を開催し、令和2年10月20日に報告書を議長に提出しました。 ・令和2年設置の三重県産材利用促進に関する条例検討会では、木材利用の推進に関する施策の基本的な事項を定める条例案を取りまとめ、令和3年3月に三重の木づかい条例を制定した。この条例を契機に現在、県や関係団体では、県産材の利用促進に向けた活動、普及啓発を行っている。</p>	<p>③特別委員会等の設置 ・差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査検討を行うため、令和2年5月15日に議決により設置しました。令和3年度は、18回の委員会を開催しました。 ・花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うため、令和3年5月18日に議決により設置しました。令和3年度は、10回の委員会を開催しました。</p>	<p>③特別委員会等の設置 ・差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 ・様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査検討を行うため、令和2年5月15日に議決により設置しました。令和4年度は、2回の委員会を開催しました。 ・花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会 アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うため、令和3年5月18日に議決により設置しました。令和4年度は、これまでに、委員会8回、県外調査1回を行いました。</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議、特別委員会）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 設置された特別委員会については、それぞれ適切に設置、運営され成果をあげられたものと考えます。令和2年度においては、コロナ禍対策について全員協議会などで検討されたようですが、領域横断型の喫緊の課題として特別委員会で取りあげる選択もあったのではないのでしょうか。 【江藤教授】 ①特別委員会の設置による政策提言・政策立案は盛んにおこなわれている。参考人も活用されている。オンラインの活用でより充実する。</p>	
<p>④議員勉強会の開催 議会での政策議論の充実・深化につなげていくため、県政を取り巻く諸課題の中から特に知識の取得を図る必要があるテーマを選定し、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>④議員勉強会の開催 ●第1回 開催日：令和元年6月26日 テーマ：「SDGsへの自治体の関わり方」 講師：高木 超 氏（慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授） ●第2回 開催日：令和元年7月12日 テーマ：「『Society5.0』と自治体について」 講師：山本 和男 氏（内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付上席政策調査員（社会システム基盤担当）・工学博士）</p>	<p>④議員勉強会の開催 ●第1回 開催日：令和2年7月13日 テーマ：自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について 講師：菅原直敏 氏（一般社団法人Publitech代表理事、福島県磐梯町CDO（最高デジタル責任者）） ●第2回 開催日：令和3年3月23日 テーマ：ウィズコロナ期における地方議会の在り方 講師：河村和徳 氏（東北大学大学院情報科学研究科 准教授）</p>	<p>④議員勉強会の開催 ●第1回 開催日：令和3年11月22日 テーマ：SNSと人権侵害 講師：中村尚生氏（公益財団法人反差別・人権研究所みえ調査・研究員） 安田賢行氏（公益財団法人反差別・人権研究所みえ研究員） ●第2回 開催日：令和4年3月10日 テーマ：五島スマートアイランド構想におけるIoTと脱炭素政策について 講師：菊森淳文氏（公益財団法人ながさき地域政策研究所理事長） 濱崎竜之介氏（公益財団法人ながさき地域政策研究所 専任研究員兼新産業創造ユニットリーダー）</p>	<p>④議員勉強会の開催 10月3日に第1回議員勉強会を開催する予定である。 全議員対象に勉強会のテーマについてアンケートを行っている。</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 令和2年度においても中断せず取り組みを継続されたこと、そして、時宜を得たテーマ選定をされていることに敬意を表します。 【江藤教授】 ①議員勉強会を積極的に行っている。これが議会力・議員力アップにつながる。 ②昼後、住民にも公開することも考えてよい。議員だけではなく、住民にも知識は必要である。</p>	
<p>⑤議会図書室の活用 議員は、政策立案及び政策提言能力の向上のため、議会図書室を積極的に活用し、調査研究に努めます。</p>	<p>⑤議会図書室の活用 議員の利用状況は以下のとおりでした。 閲覧者数（議員）：のべ264名、貸出件数（議員）：278件</p>	<p>⑤議会図書室の活用 議員の利用状況は以下のとおりでした。 閲覧者数（議員）：のべ377名、貸出件数（議員）：350件</p>	<p>⑤議会図書室の活用 議員の利用状況は以下のとおりでした。 閲覧者数（議員）：のべ262名、貸出件数（議員）：287件</p>	<p>⑤議会図書室の活用 議員の利用状況は以下のとおりでした。 閲覧者数（議員）：のべ49名、貸出件数（議員）：57件（いずれもR4.8.31時点）</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 令和2年度に図書室利用者数が伸びたことを興味深く拝見しました。現地調査等が困難な時期が長かったことが影響しているのでしょうか。令和3年はほぼ令和元年の水準に復しているようですが、長期的にはもっと活用されるような議会図書室になることが期待されます。 【江藤教授】 ①議会図書室は重要であることが理解できる。議員や職員だけではなく、住民も活用できることを積極的に宣伝することが必要である。 ②議会図書室は、この項目（政策提言・政策立案）だけではなく、監視にも関連している。</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
<h3>4. 分権時代を切り開く交流・連携の推進</h3> <p>地方分権の進展に的確に対応するため、議会改革を推進し、他の自治体の議会との交流及び連携を行うこと。</p>							
<p>①全国都道府県議会議長会 議長は、各都道府県議会の議長とともに、地方自治の発展に向けた協議を行うほか、全国的な課題等に関し、地方議会の意思を国等の施策に反映させるための要望活動を実施するなど、他の自治体の議会との交流及び連携を行います。</p>	<p>①全国都道府県議会議長会 令和元年度は、議長が、全国都道府県議会議長会の農林水産環境委員会副委員長に就任するとともに、以下の会議に出席し、各都道府県議会の議長とともに、地方自治の発展に向けた協議を行ったほか、全国的な課題等に関し、地方議会の意思を国等の施策に反映させるための要望活動を実施しました。 ・令和元年 6月20日 臨時総会（東京都）後関 ・令和元年 7月31日 第163回定例会総会（東京都） ・令和元年10月31日 第164回定例会総会（福井県） ・令和2年 1月29日 第165回定例会総会（東京都）</p>	<p>①全国都道府県議会議長会 書面開催 令和2年度は、議長が全国都道府県議会議長会の地方自治委員会副委員長に就任しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3回の会議はすべて書面開催となったものの、各都道府県議会の議長とともに、地方自治の発展に向けた協議を行ったほか、全国的な課題等に関し、地方議会の意思を国等の施策に反映させるための要望活動を実施しました。</p>	<p>①全国都道府県議会議長会 オンライン開催 令和3年度は、議長が全国都道府県議会議長会の理事に就任しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3回の会議はすべてオンライン開催となったものの、各都道府県議会の議長とともに、地方自治の発展に向けた協議を行ったほか、全国的な課題等に関し、地方議会の意思を国等の施策に反映させるための要望活動を実施しました。</p>	<p>①全国都道府県議会議長会 令和4年度は、議長が、全国都道府県議会議長会の監事に就任するとともに、以下の会議に出席し、各都道府県議会の議長とともに、地方自治の発展に向けた協議を行いました。 ・令和4年 7月27日 第172回定例会総会（東京都）</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 令和2年度から3年度にかけて、地方議会に関する法制度上の大きな検討課題となったのは、オンライン議会のあり方でした。議会法制についての国とのやりとりについては、議長会の役割が大きいと理解します。その点について、自己評価等で言及されていなかったことには少々違和感を覚えました。 【江藤教授】 ①国と地方の協議の場を活用し、積極的に地方自治制度改革や政策の要請を行うことは自治にとって重要である。</p>	
<p>②東海北陸7県議会議長会議・東海4県議会議長会議 ・近畿2府8県議会議長会議議長及び副議長は、近隣府県の議会の議長及び副議長で構成される各議長会議において、議会改革等に関する先進的な取組の共有や情報交換を行うほか、近隣府県に共通する課題等に関し、国等に対する要望活動を実施するなど、他の自治体の議会との交流及び連携を行います。</p>	<p>②東海北陸7県議会議長会議・東海4県議会議長会議・近畿2府8県議会議長会議 東海北陸7県議会議長会議 令和元年5月29日（富山県） 令和2年1月23日（石川県） 東海4県議会議長会議 開催なし 近畿2府8県議会議長会議 令和元年8月27日（福井県）</p>	<p>②東海北陸7県議会議長会議・東海4県議会議長会議・近畿2府8県議会議長会議 東海北陸7県議会議長会議 書面開催 東海4県議会議長会議 開催なし 近畿2府8県議会議長会議 書面開催</p>	<p>②東海北陸7県議会議長会議・東海4県議会議長会議・近畿2府8県議会議長会議 東海北陸7県議会議長会議 第1回：書面開催、第2回：オンライン開催 東海4県議会議長会議 開催なし 近畿2府8県議会議長会議 書面開催</p>	<p>②東海北陸7県議会議長会議・東海4県議会議長会議・近畿2府8県議会議長会議 東海北陸7県議会議長会議 第1回：オンライン開催 近畿2府8県議会議長会議 令和4年8月10日（三重県）</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 ブロック単位の活動が、三重県にとっては多層的であることがよく理解できます。逆に言うと、他のブロックに位置する都道府県議会に比して、ブロック連携のもつ意味や役割が違うのかと思います。そのことについて県議会としてどのように位置づけた上で今後の取り組みを展開するのかについて検討されても良いのではないかと考えます。 【江藤教授】 ①関連する広域課題についての研究・調査をいままで以上に充実して行うことを検討すべきである。</p>	
<p>③紀伊半島三県議会交流会議 紀伊半島の振興及び発展のため、三重県、奈良県及び和歌山県の各県議会の議長、副議長並びに関係議員が、紀伊半島三県に共通する課題等について意見交換等を行います。</p>	<p>③紀伊半島三県議会交流会議 「第13回紀伊半島三県議会交流会議」を次のとおり開催しました。 開催日：令和元年7月26日 開催場所：奈良県橿原市内 出席議員：和歌山県10名、奈良県10名、三重県10名 議 題：①医師の確保に向けた取組 ②紀伊半島における道路ネットワークの整備促進 視 察 先：キトラ古墳壁画体験館</p>	<p>③紀伊半島三県議会交流会議 「第14回紀伊半島三県議会交流会議」を次のとおり開催しました。 開催日：令和2年7月17日 開催場所：和歌山県岩出市内 出席議員：和歌山県10名、奈良県10名、三重県8名 議 題：①過疎地域の持続的な発展 ②大規模広域防災拠点の整備 視 察 先：ねごろ歴史の丘</p>	<p>③紀伊半島三県議会交流会議 「第15回紀伊半島三県議会交流会議」を次のとおり開催しました。 開催日：令和3年7月21日 開催場所：三重県大台町内 出席議員：和歌山県7名、奈良県7名、三重県7名 議 題： (1)ワーケーションの推進 (2)紀伊半島アンカールートの整備促進による国土強靱化及び地方創生の推進 (3)公共事業における木材の活用 視 察 先：奥伊勢フォレストピア内施設</p>	<p>③紀伊半島三県議会交流会議 「第16回紀伊半島三県議会交流会議」を次のとおり開催しました。 開催日：令和4年7月14日 開催場所：奈良県五條市内 出席議員：和歌山県7名、奈良県7名、三重県6名 議 題：①観光振興 ②熊野川流域の総合的な治水 対策及び土砂災害対策 視 察 先：五條市上野公園 シダーアリーナ</p>	<p>振り返りの会議の場（代表者会議）で課題となる意見は出ませんでした。</p>	<p>【廣瀬総長】 大きな課題を有すると同時に、貴重な地域資産を豊富にかかえる紀伊半島地域について、こういう意見交換の場を維持していることの意義は高く評価できると思います。他方で、活動実態はやや定型化し、この場を活かして何ができるかという観点での検討はやや薄いようにも感じます。三重県議会としてこの場をもっと活かすべきだとお考えであれば、次期において他の2県議会とも協議をされていくことも一つの選択かと思えます。 【江藤教授】 ①関連する広域課題についての研究・調査をいままで以上に充実して行うことを検討すべきである。</p>	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
5. 事務局による議会サポート体制の充実 政策決定と政策評価、政策提言と政策立案を充実させるための、議会や議員のサポート体制の充実							
(1) 専門的人材の充実と活用等 ① 「企画法務課」の設置と「政策法務担当」の設置	1.専門的人材の充実と活用等 ①「企画法務課」の設置と「政策法務担当」の設置 企画法務課（現員14人）と政策法務担当（現員3人）を設置している	1.専門的人材の充実と活用等 ①「企画法務課」の設置と「政策法務担当」の設置 企画法務課（現員14人）と政策法務担当（現員3人）を設置している	1.専門的人材の充実と活用等 ①「企画法務課」の設置と「政策法務担当」の設置 企画法務課（現員14人）と政策法務担当（現員3人）を設置している	1.専門的人材の充実と活用等 ①「企画法務課」の設置と「政策法務担当」の設置 企画法務課（現員14人）と政策法務担当（現員3人）を設置している	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 ①と②をあわせて記述します。課や担当の設置において議会における立法機能等について配慮がされていることについて評価します。衆院法制局への派遣は議会事務局内部での人材養成ですが、人教的には行政部門での人材養成を前提として確保されている人数の方が多数と理解します。その人材の確保や将来に向けての要請について、議会と行政との連携等も重要かと思いますが、その点についての検討は議会内ではどこでどのようになされているでしょうか。自己評価による課題の欄にその点が言及されていない点が気になりました。 【江藤教授】 ①議会事務局のミッション、プログラムの策定も検討してよい。 ②専門的人材の活用を行っている。議会事務局職員の出向ルールの明確化は必要である。 ③専門的知見の活用も検討してよい。	
(1) 専門的人材の充実と活用等 ② 衆議院法制局への研修派遣 政策立案機関への転換をしつつある三重県議会議員をサポートするため	1.専門的人材の充実と活用等 ②衆議院法制局への研修派遣 ・1人派遣（派遣者はH30年度から継続）	1.専門的人材の充実と活用等 ②衆議院法制局への研修派遣 ・1人派遣	1.専門的人材の充実と活用等 ②衆議院法制局への研修派遣 ・1人派遣（派遣者はR2年度から継続）	1.専門的人材の充実と活用等 ②衆議院法制局への研修派遣 ・1人派遣	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 （同上） 【江藤教授】 ①派遣は今後も重要である。政策法務に詳しい弁護士等の任用も検討してよい。	
(1) 専門的人材の充実と活用等 ③ 大学院で公共政策に関する研究を行っている学生を対象としたインターンシップ 実習生の知見を活用し、議会の在り方等に対する提案・意見を受ける	1.専門的人材の充実と活用等 ③大学院で公共政策に関する研究を行っている学生を対象としたインターンシップ ・実習生1名を受入れた （課題： ）	1.専門的人材の充実と活用等 ③大学院で公共政策に関する研究を行っている学生を対象としたインターンシップ ・新型コロナウイルス感染症拡大により中止	1.専門的人材の充実と活用等 ③大学院で公共政策に関する研究を行っている学生を対象としたインターンシップ ・新型コロナウイルス感染症拡大により中止	1.専門的人材の充実と活用等 ③大学院で公共政策に関する研究を行っている学生を対象としたインターンシップ ・実習生1名を受入れた	インターンシップ期間をもう少し長くするとよとの意見がある。	【廣瀬総長】 コロナ禍でいったん中止していた受け入れが、再開されたことを歓迎したいと思います。 【江藤教授】 ①人材発掘には重要であり、継続すべきである。	
(2) 情報収集・提供の充実と活用 ① 政策立案のための参考資料の提供 政策立案のための参考資料として、他都道府県議会事務局が行った全国調査結果や全国都道府県議長会から提供された資料を本県議会議員からの依頼調査と合わせて資料目録を作成し、毎月、全議員に配付している	2.情報収集・提供の充実と活用 ①政策立案のための参考資料の提供	2.情報収集・提供の充実と活用 ①政策立案のための参考資料の提供	2.情報収集・提供の充実と活用 ①政策立案のための参考資料の提供	2.情報収集・提供の充実と活用 ①政策立案のための参考資料の提供	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 ①、②をまとめて記述します。この情報を「県民の資産」と位置づけた上で、広く公開することも検討いただきたいと思います。横浜市会の『市会ジャーナル』などが参考になると思います。 【江藤教授】 ①議会力・議員力にとって重要である。他の議会で行っている資料提供とも連携することも検討してよい。	
(2) 情報収集・提供の充実と活用 ② 自主調査レポート等の作成 議員からの依頼調査に加え、時の政策課題等をテーマに職員が自主調査を行い、議員活動の参考資料となるよう「自主調査レポート」にまとめ全議員に配付している	2.情報収集・提供の充実と活用 ②自主調査レポート等の作成 ・自主調査レポート3件の作成	2.情報収集・提供の充実と活用 ②自主調査レポート等の作成 ・自主調査レポート1件の作成	2.情報収集・提供の充実と活用 ②自主調査レポート等の作成 ・政策法務レポート1件の作成	2.情報収集・提供の充実と活用 ②自主調査レポート等の作成	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 （同上） 【江藤教授】 ①議会力・議員力にとって重要である。他の議会で行っている資料提供とも連携することも検討してよい。	

取組内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(上半期)	自己評価による課題	外部有識者による評価、アドバイス	今後の方向性
(2) 情報収集・提供の充実と活用 ③ 議会図書室の機能強化 議会図書室の機能強化を図るため、レファレンスサービス等の提供を実施	2.情報収集・提供の充実と活用 ③ 議会図書室の機能強化 ・利用者数 9271	2.情報収集・提供の充実と活用 ③ 議会図書室の機能強化 ・利用者数 6511	2.情報収集・提供の充実と活用 ③ 議会図書室の機能強化 ・利用者数 5127	2.情報収集・提供の充実と活用 ③ 議会図書室の機能強化 ・利用者数1992 (R4.8.31時点)	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 利用者が漸減してきていることが気になります。議会図書室の提供するサービスについての周知がもっと積極的で良いのかも知れません。 【江藤教授】 ① 議会図書室は、議会サポートでは不可欠である。住民も活用できることを周知するべきである。	
(2) 情報収集・提供の充実と活用 ④ 調査活動へのパソコン利用等 全議員にタブレット端末を配付し、議会のスマート化を進めている	2.情報収集・提供の充実と活用 ④ 調査活動へのパソコン利用等	2.情報収集・提供の充実と活用 ④ 調査活動へのパソコン利用等	2.情報収集・提供の充実と活用 ④ 調査活動へのパソコン利用等	2.情報収集・提供の充実と活用 ④ 調査活動へのパソコン利用等	パソコン利用については、役に立つという意見とともに役に立たないという意見もある。	【廣瀬総長】 ペーパーレス化の効果、他方で課題がないかという点について確認、共有しておくことが必要だと思います。コピーにかけられていた時間を、他の業務に充てられるようになった効果は非常に大きいのではないかと思います。 【江藤教授】 ① 〇Cの活用は当然必要である。	
(2) 情報収集・提供の充実と活用 ⑤ パソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用 本会議等にタブレット端末等を持ち込むことを認めており、議会審議の充実の一助としている	2.情報収集・提供の充実と活用 ⑤ パソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用 ・議会審議の充実の一助とするため、H26.3.20から本会議、委員会でタブレット端末及びスマートフォンの持込み・使用を認めている	2.情報収集・提供の充実と活用 ⑤ パソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用 ・R3年3月に全議員にタブレット端末を配付。スマート議会の在り方検討プロジェクト会議を設置し、議会のスマート化を検討している	2.情報収集・提供の充実と活用 ⑤ パソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用 ・5月の代表者会議で、本会議及び委員会に加え、それ以外の会議についても、議員に限らずパソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用ができるよう申し合わせ事項を改正した	2.情報収集・提供の充実と活用 ⑤ パソコン、タブレット端末及びスマートフォンの使用 ・6月の代表者会議で、全議員によるタブレット使用の日常化 資料閲覧システムの導入 オンライン委員会の議員向けマニュアルの作成、運用 に取り組むことが了承された。	・パソコン利用については、役に立つという意見とともに役に立たないという意見もある。 ・議場のスマートフォンの活用方法に再度徹底する必要がある。	【廣瀬総長】 これについては日進月歩の側面があり、継続的にそれぞれのタイミングで検討して行かれることを期待します。 【江藤教授】 ① 情報発信のルール化は検討すべきである。	
(3) その他 ① 本会議録の調製 平成17年度から速記を廃止し、録音機器での記録により会議録を調製している	3.その他 ① 本会議録の調製	3.その他 ① 本会議録の調製	3.その他 ① 本会議録の調製	3.その他 ① 本会議録の調製	議員アンケートでは、課題となる意見は出ませんでした。	【廣瀬総長】 適切に作成されていると認識しています。 【江藤教授】 ① 議会審議録の調製にあたって、AI等を活用することも検討すべきである。	
(3) その他 ② 本会議会議録のCD化 従来は冊子で配付していた会議録を、CD-Rでの配付も可能とした	3.その他 ② 本会議会議録のCD化	3.その他 ② 本会議会議録のCD化	3.その他 ② 本会議会議録のCD化	3.その他 ② 本会議会議録のCD化	HPで確認すればCD化は必要ないという意見がある。	【廣瀬総長】 とくに永年保存文書についての主たる蓄積、公開の手段をオンラインと位置づける場合の、制度上、システム上、そしてその裏付けとなる予算上、技術上の担保について考え方を整理しておくことが重要だと思います。その上で、配布の便宜としてのCD-ROM等については随時検討して実施していけば良いものと思います。 【江藤教授】 ① CD化の必要性は検討すべきである。	